

Fシネマ・プロジェクト こども映画館

スクリーンで見る日本アニメーション!

2018年3月



なまくら刀

2018年は、日本ではじめてアニメーションが作られてから101年
日本のアニメーションの歴史や、いろいろなアニメーションの作り方
アニメーションにくわしくなって、もっとアニメーションがおもしろくなる上映会
みんなで見よう!

- 3/18(日) 短編集1ーいろいろな動物の映画(4作品・43分)
- 3/21(水・祝) サウンド・アンド・サイレント 短編集2ーさまざまな手法(4作品・27分)
- 3/25(日) パンダコパンダ/パンダコパンダ 雨ふりサーカス(2作品・74分)

- ・この企画は、フィルムの上映環境を確保するための「Fシネマ・プロジェクト」の一環として、コミュニティシネマセンターの会員館を中心に全国で実施するものです。
- ・「短編集1ーいろいろな動物の映画」と「短編集2ーさまざまな手法」の上映作品は、すべて東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵作品です。
- ・各回の上映前に、映像文化ライブラリー職員による解説があります。
- ・短編集の上映順が変わる場合があります。
- ・上映作品には、映像・音声が良好ではないものがあります。
- ・当日の上映分数は、ここに掲載したものと多少異なる場合があります。
- ・上映作品の紹介は、『日本アニメーション映画史』などを参考にしています。



広島市映像文化ライブラリー

広島市中区基町3-1 TEL082-223-3525 <http://www.cf.city.hiroshima.jp/eizou/>

■開館時間:火~土曜日 午前10時~午後8時(日曜日、祝日、8月6日は午後5時まで) ■休館日:月曜日(8月6日と祝日は開館)、祝日の振替日、12月29日~1月4日

■3/18 (日) ①10:30~ ②14:00~ 鑑賞料/大人510円、シニア(65歳以上)250円、高校生250円、小・中学生無料

短編集1ーいろいろな動物の映画 (4作品・43分)

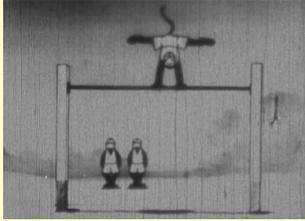
サルやライオン、カンガルーなど、動物たちがいろいろなスポーツに挑戦する『体育デー』、子猫とネズミがらくがきの中に入り込んで追いつ追われつの騒動をくりひろげる『こねこのらくがき』、グリム童話を人形アニメーションで描く『もりのおんがくたい』など、動物たちが活躍するアニメーションを集めたプログラムです。

体育デー 1932年 横浜シネマ商会 作画/村田安司 9分 白黒 無声 35mm

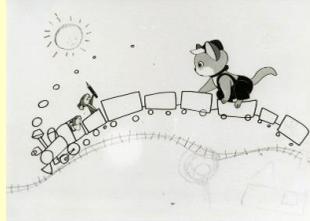
こねこのらくがき 1957年 東映教育映画部 演出/藪下泰司 12分 白黒 35mm

もりのおんがくたい 1960年 学研映画局 演出/神保まつえ 14分 カラー 35mm

人魚 1964年 虫プロダクション 演出/手塚治虫 8分 カラー 35mm



体育デー



こねこのらくがき



もりのおんがくたい



人魚

サウンド・アンド・サイレント (ピアノ伴奏付き上映)

■3/21 (水・祝) ①14:00~ 鑑賞料/大人510円、シニア(65歳以上)250円、高校生250円、小・中学生無料

短編集2ーさまざまな手法 (4作品・27分)

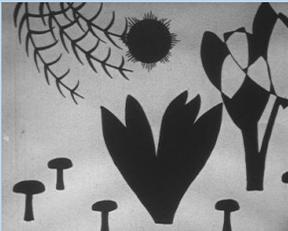
今も見る事ができる最も古い日本のアニメーション『なまくら刀』、女の人とアニメーションのキャラクターが共演する『煙草物語』、切り紙を使った『漫画 二つの世界』など、いろいろなアニメーションをピアノ伴奏付きで上映します。

なまくら刀 [デジタル復元・最長版] 1917年 小林商会 作画/幸内純一 5分 染色 無声 35mm

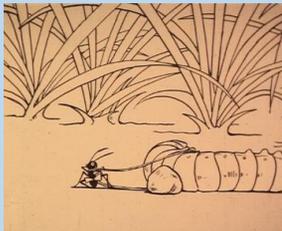
煙草物語 [不完全版] 1926年 東京自由映画社 監督/大藤信郎 3分 染色 無声 35mm 英語字幕

漫画 二つの世界 1929年 横浜シネマ商会 作画/村田安司 15分 染色 無声 35mm 英語字幕

PROPAGATE (開花) 1935年 監督/荻野茂二 4分 白黒 無声 35mm



PROPAGATE (開花)



漫画 二つの世界

伴奏/吉清彩香 (ピアノ)

4歳からピアノを始め、15歳から作曲を専門的に学ぶ。桐朋学園大学音楽学部作曲理論学科作曲専攻卒業。同大学研究科一年目終了後、国立ミューン音楽演劇大学大学院作曲科卒業。これまでにピアノを品川幸子、三瀬和朗、ローラン・テシュネの各氏に、作曲を故平吉毅州、安良岡章夫、フォン・ボーセの各氏に師事。ドイツ留学中に、ルーディ・シュテファン作曲賞受賞、ギンター・ピアラス作曲コンクール3位入賞。現在は演奏活動、作曲・編曲をする傍ら後進の指導にもあたる。サウンド・アンド・サイレントでは、これまでに『戦艦ポチョムキン』『カリガリ博士』『猛進ロイド』の伴奏を行う。



■3/25 (日) ①10:30~ ②14:00~ 鑑賞料/大人510円、シニア(65歳以上)250円、高校生250円、小・中学生無料



CTMS

宮崎駿が脚本を書き、高畑勲が演出した、スタジオジブリの原点ともいえる『パンダコパンダ』と『パンダコパンダ 雨ふりサーカス』を上映します。(2作品・74分)

パンダコパンダ

1972(昭和47)年 東京ムービー 35分 カラー 35mm

原案・脚本・画面設定/宮崎駿 演出/高畑勲

声の出演/杉山佳寿子、熊倉一雄、太田淑子、山田康雄

竹林の中の家で暮らすミミ子のもとに、パンダの子どものパンちゃんと、お父さんのパンダがやってきて一緒に暮らし始めます…

パンダコパンダ 雨ふりサーカス

1973(昭和48)年 東京ムービー 39分 カラー 35mm

脚本・美術設定・画面構成/宮崎駿 演出/高畑勲

声の出演/杉山佳寿子、熊倉一雄、丸山裕子、太田淑子

町にサーカスがやってきた日、大雨が降って洪水になり、サーカスの動物たちが水の中にとり残されます。ミミ子たちはベッドのボートを浮かべて救出に向かいます…